

新型コロナウイルスに関する 2020 年調査のご案内

2020 年 7 月 28 日

新型コロナウイルスの流行は、高齢者の生活や健康に大きな影響を与えています。日本老年学的評価研究（JAGES）では、ご協力いただける保険者の皆様とともに、新型コロナウイルスに関する 2020 年調査を実施することで、新型コロナウイルスの流行が高齢者の生活や健康に与えた影響を評価するとともに、今後の対策に資する分析を行いたいと考えています。

この調査を行うことで、例えば以下のような分析が可能です。新型コロナウイルスの影響は、地域差が大きいと考えられます。貴市町村での今後の対策に役立てていただくために、ぜひ調査の実施をご検討ください。

【分析例】

1. どのような属性の高齢者が行動変容に至ったか／至らなかったか

本調査票では、緊急事態宣言期間中（2020 年 4 月～5 月）に高齢者が積極的にとっていた行動（例：3 密を避ける、手洗い、オンライン診療の利用）や自粛した行動（例：不要不急の外出、公共交通機関の利用）を聞いている。どのような属性の高齢者が行動変容に至ったか／至らなかったかを明らかにすることで、今後感染拡大防止のためにどの層にアプローチすればよいか、示唆を得ることができる。

2. 自粛生活による社会参加や運動量の減少が、うつや慢性疾患、要介護等のリスクをどの程度高めたか

新型コロナによって社会参加や運動量がどの程度減少したか、2019 年以前の調査データを活用することで、記憶に頼らず（間違いを抑えて）把握したデータと今回の 2020 年調査データを合わせて比較することができる。これらの活動の低下は、うつや慢性疾患、要介護等の危険因子と知られており、新型コロナによる自粛生活が高齢者の健康にどのような影響を与えたのか明らかにできる。

3. インターネットを使って高齢者の孤立をどの程度解消できるか

本調査票では、高齢者の孤立感を測定する一方で、新型コロナの流行をきっかけとしてどの程度の高齢者がインターネットやビデオ通話を使い始めたのか把握している。最近高齢者の間でも普及してきているインターネットが、高齢者の孤立を解消する上でどの程度寄与するのか明らかにすることができる。

4. 高齢者は新型コロナに関する情報をどこから得ているのか

本調査票では、高齢者がどこからどれくらいの頻度で新型コロナに関する情報を得ているのか聞いている（例：テレビ、新聞、雑誌、インターネット、家族・友人、医療スタッフ）。新型コロナに関しては、様々な誤解やデマも流れる中で、高齢者がどのように情報を得ているか明らかにすることで、今後のヘルスコミュニケーション戦略の策定に資するエビデンスを提供することができる。

5. どのような属性の高齢者が虐待や詐欺被害に遭いやすいか

本調査票では、緊急事態宣言期間中の虐待や詐欺被害の経験を訪ねている。新型コロナの流行に伴う高齢者への虐待や詐欺被害の増加が懸念される中、どのような属性の高齢者が被害に遭いやすいか明らかにすることで、予防対策に資するエビデンスを提供する。

6. ワクチンができて予防接種が始まった時に、何か阻害／促進要因なのか

本調査票では、今後新型コロナの予防接種が始まった場合に、接種するかどうかを聞いている。「接種しない」「わからない」という場合は、その理由を聞いており、何が高齢者の予防接種の阻害／促進要因となるのか明らかにすることができる。

【Q&A】

Q 1. 費用はどこが負担するのか？

A 1. 市町村の予算がある場合に実施させていただきます。その集計分析を、JAGES の研究者が行います。

Q 2. 調査票の項目は全て入れなければならないのか？

A 2. 上記のねらいを持って作成した質問項目ですので、できれば全て取り入れていただきたいと考えています。しかし、質問紙のスペースや予算など個別の状況に応じて、一部の項目を抜粋して使っていただくこともご相談させていただければと存じます。

Q 3. 年度内に報告書はもらえるのか？

A 3. 本年 11 月までに調査を実施していただければ、年度内に報告書をお返しします。その後も分析や論文執筆を進め、論文の形で公表するのは来年度以降になります。